



第三十七回 ふくおか
「万作の会」

庵 の 梅



野村万作



野村萬齋



野村裕基



狂言「庵の梅」
野村万作

素囃子「高砂」八段之舞
たかさご はちだんのまい

狂言「宝の槌」
たからのつち

語「奈須与市語」
なすのよいちのかたり

狂言「庵の梅」
いおりのうめ

2024年

1月5日(金) [17:30 開場] [18:30 開演]

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 TEL:092-715-2155

6日(土) [12:00 開場] [13:00 開演]

椅子席:13,000円(税込) 棧敷席:10,000円(税込)

問合せ/チケット販売

ノマ企画 <http://nomakikaku.com>

TEL:092-781-1267

Produced by Noma Kikaku

第三十七回

ふくおか「万作の会」 庵の梅

二〇二四年一月 五日(金) 開演 午後六時半 六日(土) 開演 午後一時

素囃子「高砂」八段之舞

(たかさごはちだんのまい)

大鼓 白坂 保行 太鼓 吉谷 潔
小鼓 飯富 章宏 笛 森田 光次

九州阿蘇の宮の神主が高砂の浦から舟で住吉へ行くと、そこに現れた住吉の明神が千秋万歳を祝い壮快に舞う。

能「高砂」のクライマックスの部分の囃子方のみで演奏します。

狂言「宝の槌」

(たからのつち)

野村萬齋 深田博治 岡聡史

主人は太郎冠者に、宝くらべのための宝物を都へ行って求めてこいと命じる。都にやつて来た太郎冠者が大声で宝物を探していると、ある男が蓬菜の島の鬼が持っていたという打出の小槌を売りつける。望むものは何でも出せるといわれ、すっかり信じ込んだ太郎冠者は、屋敷に戻ると主人の前で早速馬を出すべく呪文を唱えるのだが…。

太郎冠者が主役の脇狂言。お正月にふさわしいめでたい祝言の演目です。

開演 午後六時半 六日(土) 開演 午後一時



「宝の槌」野村萬齋

語「奈須与市語」

(なすのよいちのかたり)

野村裕基

能「八鳥」の間狂言の特殊演出として演じられる語りで、奈須与市が扇

の的を射た有名なエピソードを仕形話にしたもの。狂言の代表的な秘伝で、能とは別に単独でも演じられます。奈須与市・源義経・後藤兵衛

実基などの人物を一人で演じ分ける華やかな仕形は、観

る者を引き込まずにはいられません。

狂言「庵の梅」

(いおりのうめ)

野村万作 野村萬齋 深田博治
中村修一 内藤連 飯田豪

今が盛りと咲く梅

の花を見るため、老尼の庵に大勢の女たちが訪れる。老尼が和歌を所望すると、女たちは自作の和歌を見せ、その短冊を梅の枝に結んでもらう。やがて酒宴となり、女たちは順に舞い謡う。老尼もすすめられて、昔を思い出しひとさし舞う。帰る時刻になると女たちは去り、老女はひとり残る…。



梅の淡い美しさに似た抒情的な作品です。「此丘貞」「枕物狂」と共に、狂言の三老曲とされる大曲です。女性たちの優美な酒宴の様子をしつとりとお楽しみください。



「奈須与市語」

野村裕基

主催 福岡「万作の会」

後援 西日本新聞社・TNCテレビ西日本・FBS福岡放送・RKB毎日放送・福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会(公財)福岡市文化芸術振興財団・西日本鉄道・九州旅客鉄道株式会社

協賛 久原本家 茅乃舎・舶来品のレイメイ・積水ハウス(株)福岡支店・志賀設計・日本航空・西鉄グランドホテル

企画・プロデュース ㈱ノマ企画

総合お申込みお問い合わせ

ノマ企画内
福岡「万作の会」事務局

〒810-0062

福岡市中央区荒戸2丁目5-9-701

TEL 092-781-1267

FAX 092-781-1268

✉ info@nomakikaku.com

受付/10:00~18:00 土・日・祝休

チケット販売所

電子チケットぴあ(<https://t.pia.jp> (Pコード521-528))
ノマ企画・大濠公園能楽堂

- 一般チケットの発売は10月6日(金)からとなっております。
- お客様のお申込みは、小学校高学年以上とさせていただきます。
- チケットの払い戻しはおことわり致します。

※演目・配役は止むを得ず変更する場合がございますが、その場合は、ご了承下さいますようお願い致します。